

SDGsからみる未来のまちづくり  
SDGsは環境・社会・経済の“三方よし”

## みどりとみずへの将来ビジョン

滋賀県土木交通部都市計画課  
都市計画係 湯浅 まゆ

# 本日の内容

- 1 ビジョンの概要
- 2 湖辺の利活用状況
- 3 湖辺の現況
- 4 今後について

# 1 ビジョンの概要

## 「琵琶湖保全再生施策に関する計画」の重点事項

### 琵琶湖と人との共生

#### 共感

琵琶湖の重要性や保全・再生の必要性について国民の幅広い「共感」を得る

#### 共存

琵琶湖の保全と多様な産業活動等活力ある暮らしとの「共存」を図る

#### 共有

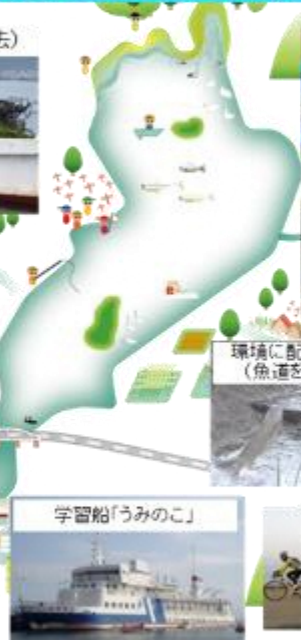
琵琶湖の価値を将来に渡って「共有」する

### 琵琶湖を「守る」と「活かす」ことの好循環をさらに推進

#### 琵琶湖を「守る」取組

- 水源林整備保全、鳥獣害対策  
(水源かん養機能維持、流木・土砂対策  
ニホンジカ、カワウ対策等)
- 生態系、生物多様性保全  
(ヨシ群落、内湖等の保全再生等)
- 外来動植物対策  
(オオバナミズキンバイ等防除、  
防除手法の検討、外来魚対策等)
- 水草対策  
(刈取り除去、対策手法の検討等)
- 水産資源の回復  
(種苗放流、漁場の整備保全等)

水草刈取(根こそぎ除去)



#### 琵琶湖を「活かす」取組

- 山村の再生、しがの林業成長産業化  
(山村資源を活かした取組、森林資源の循環利用等)
- 「世界農業遺産」認定に向けた取組  
(環境に配慮した農業、生きものを育む水田づくり等独自システム)
- 環境関連産業の振興  
(水草の有効利用に係る技術支援、水環境ビジネス等)
- 体験・体感による琵琶湖とのふれあい推進  
(エコツーリズム、琵琶湖と親しむスポーツ等)
- 琵琶湖漁業の持続的発展  
(琵琶湖産魚介類の消費拡大・流通促進、新規就業者の確保等)

#### 「支える」取組

#### 調査研究

- 国立環境研究所琵琶湖分室と琵琶湖環境科学研究センターとの共同研究、連携強化
- 琵琶湖における調査研究成果のデータベース化と知見等の共有・活用 ● 新たな水質管理手法の検討

#### 多様な主体による協働

- これまでのNPOや関係団体中心の協働に「事業者」「大学」も加わった仕組みの構築
- 下流域住民や学生、団体との協働(清掃活動、琵琶湖水源林の保全整備等) ● ボランティア活動の推進

#### 発信、環境学習

- ピワイチなどの推進による琵琶湖の魅力発信 ● 国内外への情報発信
- 体験型の環境学習(農業体験、森林・林業体験、魚を学ぶ体験学習、学習船「うみのこ」、琵琶湖博物館等)

## みどりとみずべの将来ビジョン作成事業

### 事業の目的

平成29年3月に策定した「琵琶湖保全再生計画」では、琵琶湖を「守る」と「活かす」ことの好循環の推進を重点事項として掲げている。

これまで、琵琶湖やその周辺においては、自然環境や景観の保全を行う「守る」を中心に施策を進めてきた。一方、多くの恵みを与えてくれる琵琶湖の本来の価値の更なる活用が求められている。

琵琶湖がもつ様々な価値を活かし、広く国民に享受されることは、文化振興に寄与し、かつ、新たな地域振興に繋がることから、保全を尊重しつつ利活用を図るための考え方を整理し、バランスのとれた保全・利活用の推進に繋げていく。

琵琶湖辺において保全・利用・活用するエリアを区分し琵琶湖の魅力を活かす

### みどりとみずべの将来ビジョン

#### 【ステップ1】

各管理者や関係市町で利活用を図るエリアを検討し、新たな利活用の可能性等につなげる。

- 琵琶湖辺の保全・利用・活用するエリア区分(案)



#### 【ステップ2】

関係機関と調整しそれぞれのエリアで保全・利活用の方策を示していく。

- 民間資本の活用方針
- 湖岸緑地等のマネジメント計画(案)



琵琶湖がもつ魅力ある資源の更なる活用

- バランスのとれた保全・利活用の推進
- 官民連携による賑わいの創出
- 適切な運営管理による公園の魅力向上

# 1 ビジョンの概要

## 将来ビジョンの構成イメージ

- 湖辺域（湖岸より200m）の将来像
- 湖辺域でのエリア区分（保全・利用・活用）  
→区分図の作成、各エリアの考え方の整理
- 保全・利用・活用エリア区分に応じた湖岸緑地等の整備・維持管理方針
- 活用エリアでの民間活力の導入方針（Park-PFI等）

- 県民の意向調査
- 土地利用計画等の整理
- 賑わい創出に関する取組事例調査

### レクリエーション



### 自然環境の保持



### カフェ



【エリア区分模式図】



【ビジョン検討範囲】

## <民間事業者による公園施設の設置・管理事例：富岩運河環水公園>

### 活用の事例



【設置管理許可制度】  
民間事業者が利用料を公園管理者に支払って収益事業を行い、同時に公園管理も行う  
都市公園法第5条に基づく制度（平成16年改正で第5条2項に第2号が追加）

公園の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>● 富岩運河環水公園（富山県）は、富岩運河の船溜まりを活用し、富山の自然と富岩運河の歴史を活かした富山駅北地区のシンボルオアシスとして整備した風光明媚な公園。</li></ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>● 県立都市公園（富岩運河環水公園）内において、水辺に親しみながら憩える空間とするため飲食店を整備。</li></ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>飲食店を設置・管理する民間事業者を県が公募</b>し、平成20年にスターバックスコーヒーが全国で初めて都市公園に出店した。</li><li>● 公園特有の運河の景観を最大限活用した店舗は平成20年に世界中でオープンしたスターバックスの中で最も優れたデザイン店舗に贈られる「ストアデザイン賞」を受賞。</li></ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>● 富山県立都市公園条例においては、公園施設を設置する場合、売店及び飲食店は1平方メートルにつき1日20円を徴収（スターバックスカフェの場合、年間約230万円）。</li></ul>

## 2 湖辺の利活用状況



## 草津市にある県営の都市公園

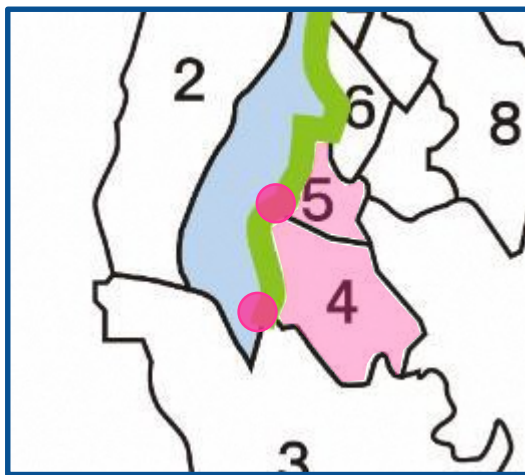


4.山田新浜地区（帰帆島-1）



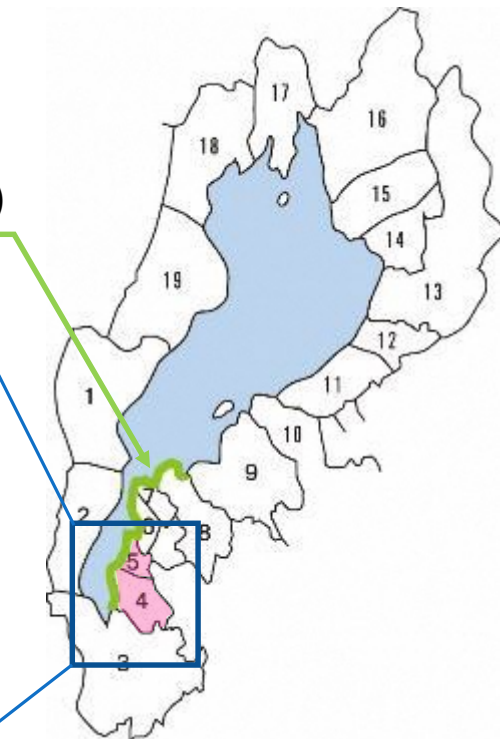
5.志那地区（志那-1）

湖岸緑地  
【南湖東岸地域】  
（草津市、守山市、野洲市）



<草津市>

湖岸緑地【南湖東岸地域】  
（草津市、守山市、野洲市）



山田新浜地区

志那地区

赤野井吉川地区

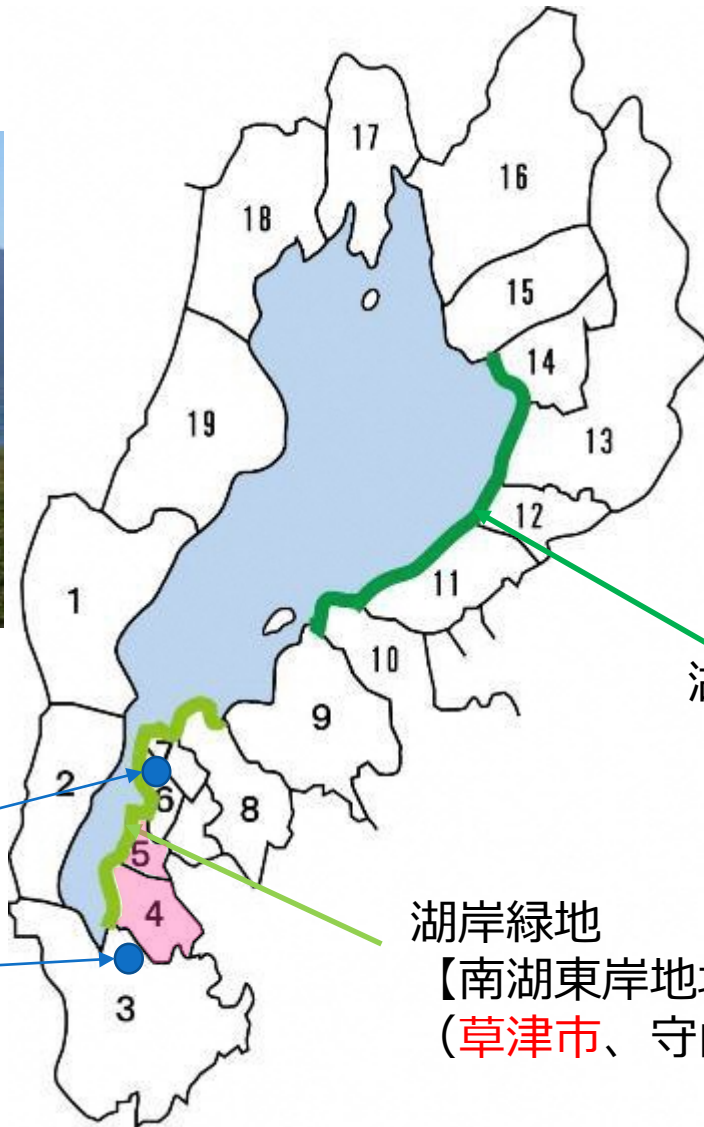
中主吉川地区

## 公園の利用状況

- 公園の利用状況について、下記の3種のアンケート調査より分析を行う

アンケート名	県営公園利用者満足度調査 <small>※びわこ文化公園のみ平成28年</small>	県政モニター アンケート	第51回世論調査
実施年	平成29年	平成30年	平成30年
対象者	びわこ文化公園168人 びわこ地球市民の森295人 湖岸緑地（湖東湖北地域） 234人 湖岸緑地（南湖東岸地域） 296人	県政モニター398人	滋賀県在住の18歳 以上3,000人
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園の満足度</li> <li>● 利用頻度、利用形態、利用目的など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市公園の利用頻度、利用目的</li> <li>● 都市公園に対する要望</li> <li>● 自然環境を保全すべきエリア など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 琵琶湖周辺の利用頻度、利用目的</li> <li>● 充実してほしいことなど</li> </ul>

## 公園の利用状況



びわこ地球市民の森

びわこ文化公園

湖岸緑地  
【湖東湖北地域】  
(東近江市、彦根市  
米原市、長浜市)

湖岸緑地  
【南湖東岸地域】  
(草津市、守山市、野洲市)

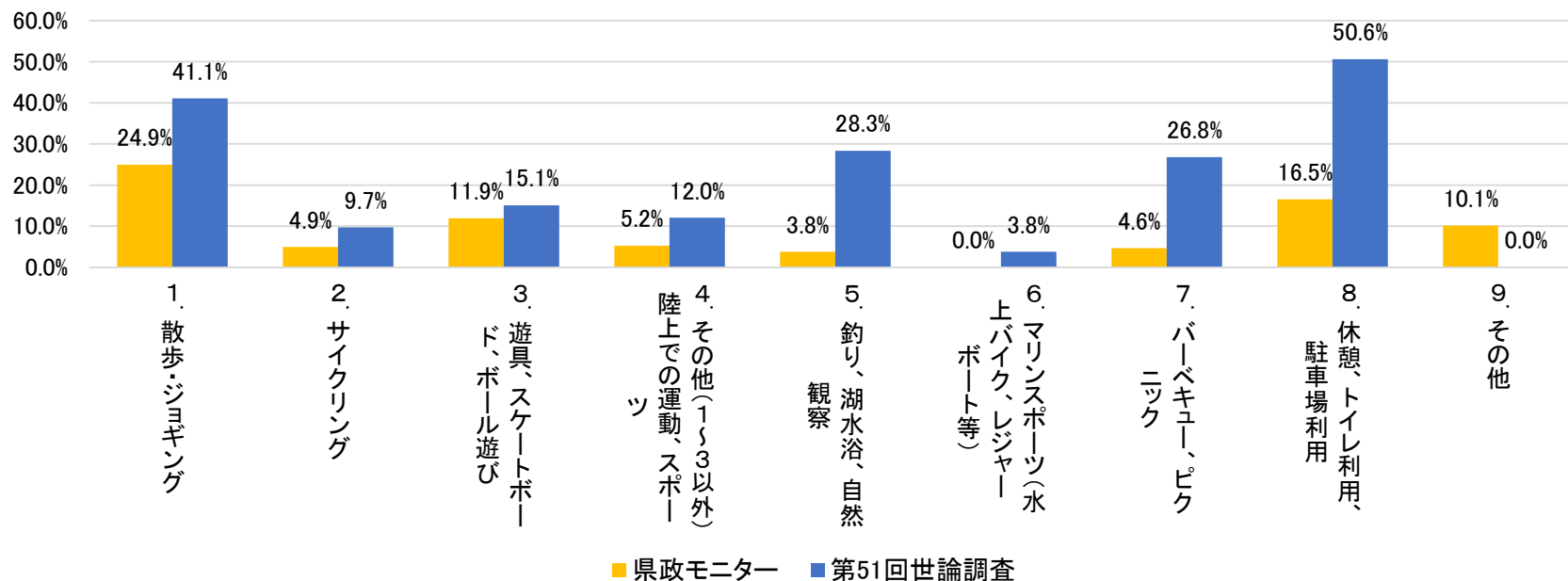
県営公園利用者満足度調査

## 公園の利用状況

### <公園の利用目的>

- 県政モニターにおける公園の利用目的は、1. 散歩・ジョギングが最も高い
- 第51回世論調査における公園の利用目的は、8. 休憩、トイレ利用、駐車場利用が最も高い

公園の利用目的

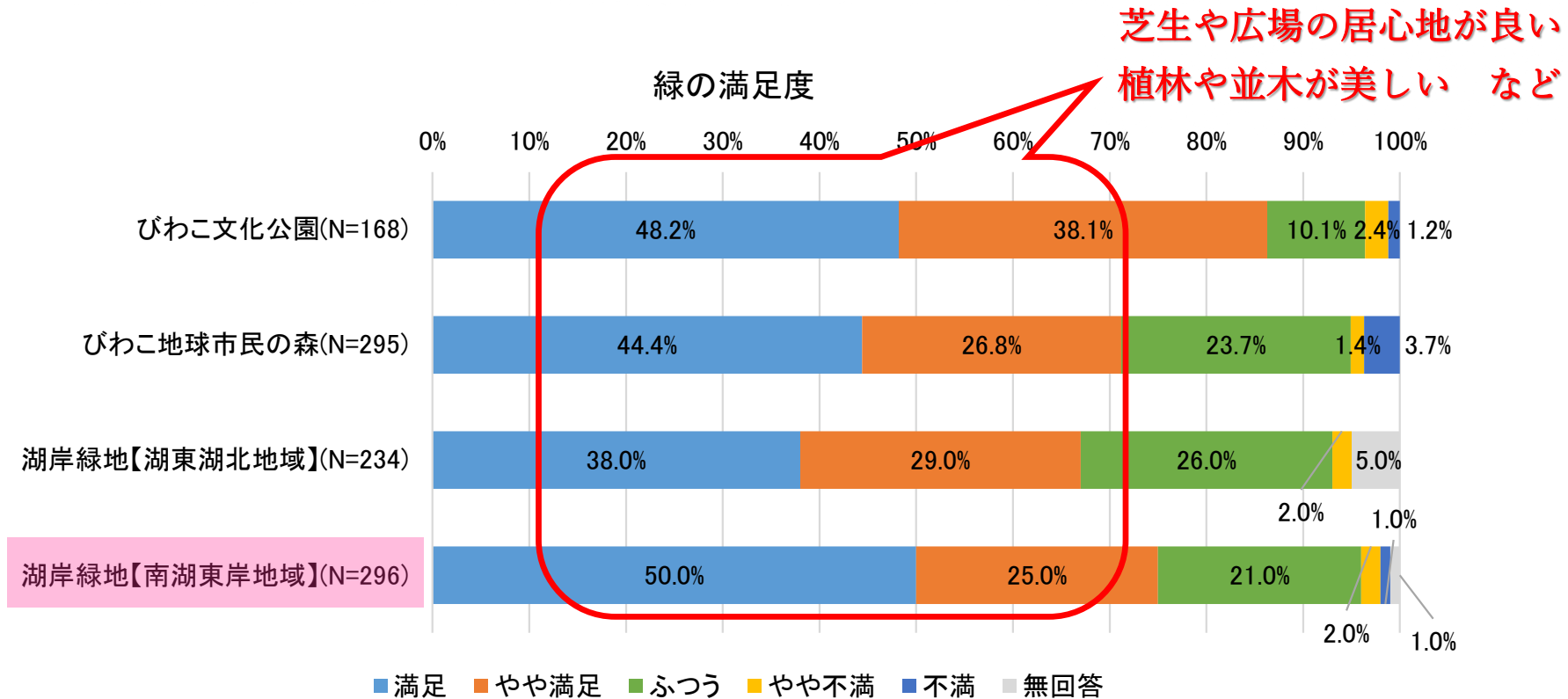


県政モニター、第51回世論調査

## 公園の利用状況

### <緑の満足度> (四季の緑や花を楽しめたか?)

- 緑の満足度は「びわこ文化公園」が約9割、その他は約7割と高い
- 「湖岸緑地【南湖東岸地域】」で満足の回答が5割と高い



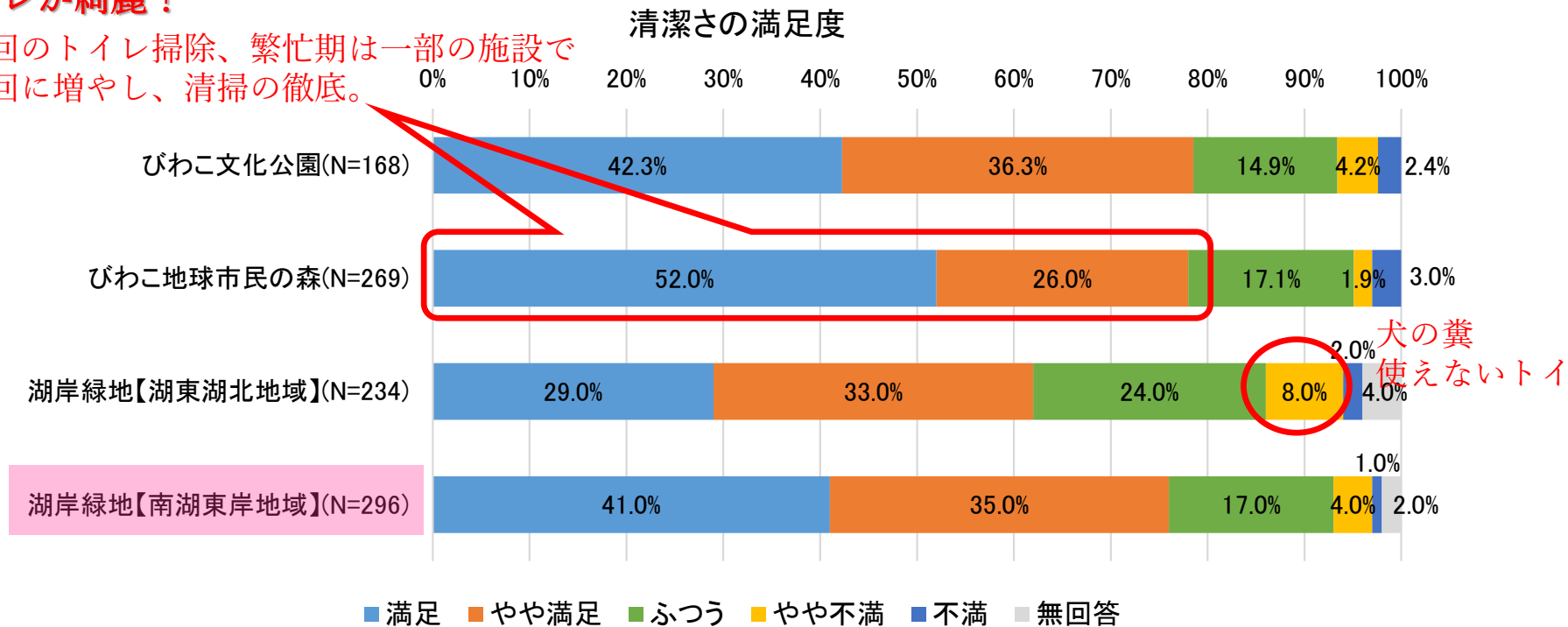
## 公園の利用状況

### <清潔さの満足度> (全体的に清掃が行き届いているか? など)

- 清潔さの満足度は、「湖岸緑地【湖東湖北地域】」が約6割となっているが、その他は約8割と高い
- 特に「びわこ地球市民の森」で満足の回答が5割と高い

**トイレが綺麗!**

週2回のトイレ掃除、繁忙期は一部の施設で週3回に増やし、清掃の徹底。



犬の糞  
使えないトイレ

## 公園の利用状況

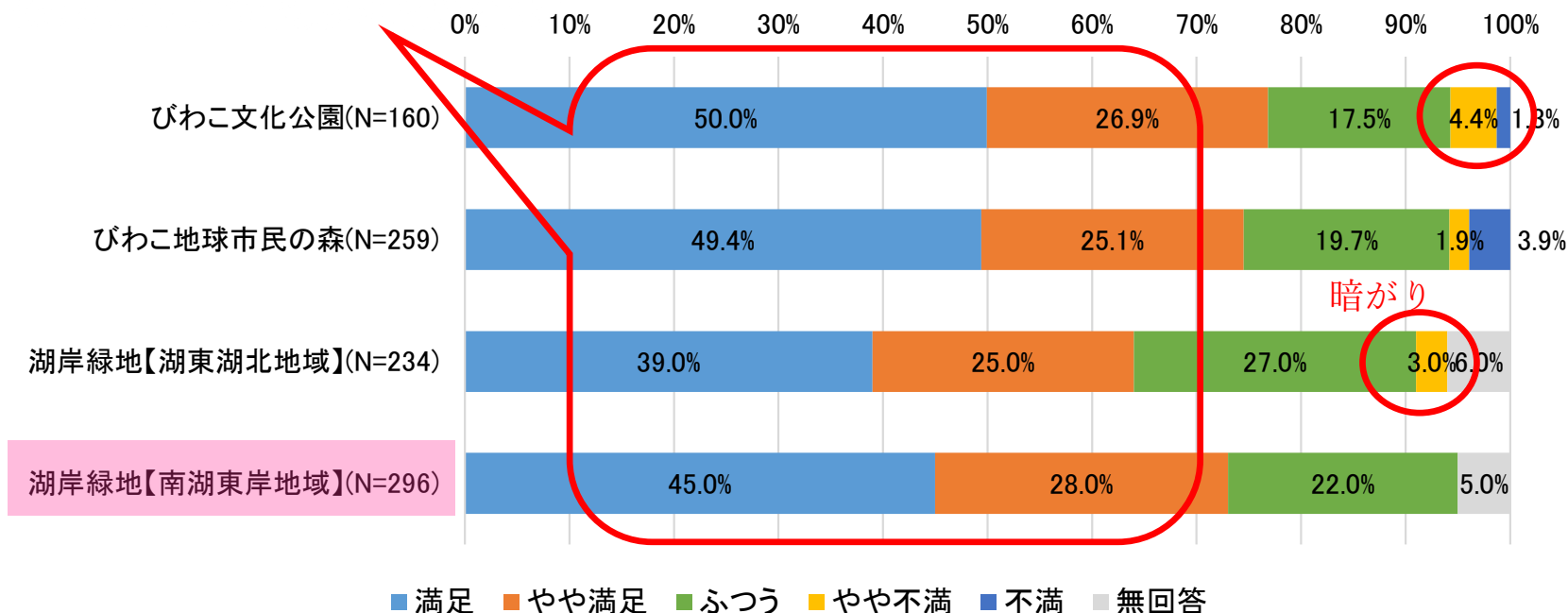
### <安全さの満足度> (防犯、安全面について)

- 安全さの満足度は、「びわこ文化公園」が約8割で最も高く、「湖岸緑地【湖東湖北地域】」が約6割と低い
- 特に「びわこ文化公園」「びわこ地球市民の森」で満足の回答が5割と高い

見通しが良く安心感が有る など

安全さの満足度

園路や遊具に危険な場所

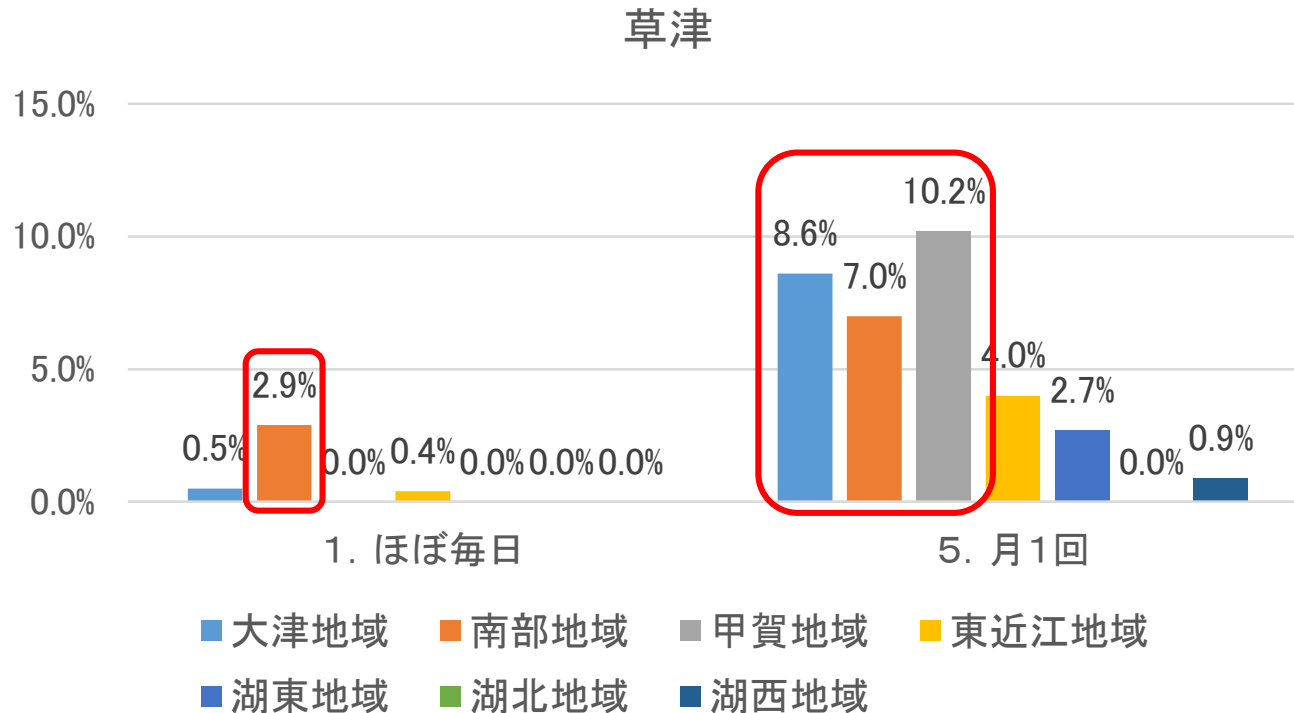


県営公園利用者満足度調査

## 公園の利用状況

### <公園の利用頻度(居住地と公園の関係)>

- ほぼ毎日利用は、居住地内の公園の利用が多い傾向
- 月1回の利用は、居住地の周辺の公園も多い傾向



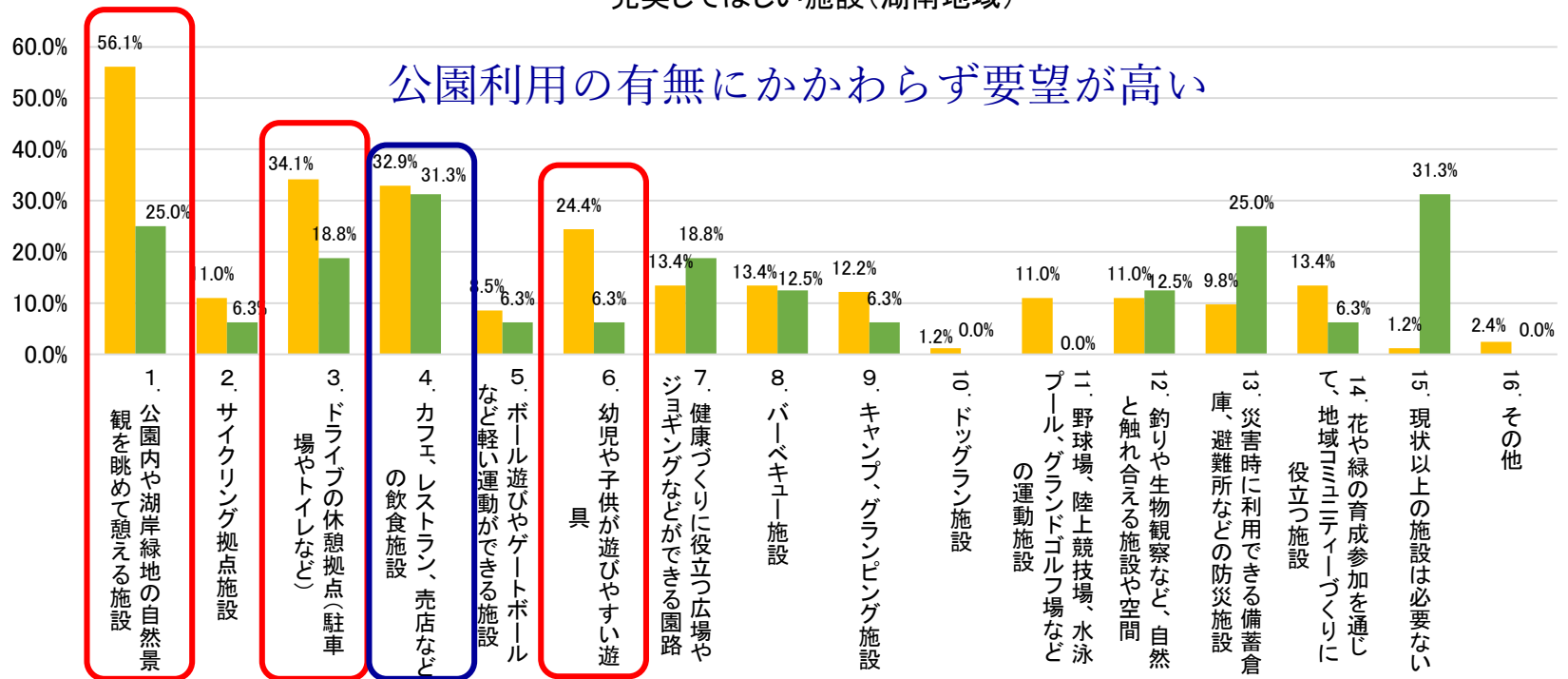


## 公園の利用状況

### <充実してほしい施設(公園を利用したことがある方とない方の比較)>

- 公園を利用したことがある方は、ない方と比較して「1. 公園内や湖岸緑地の自然景観を眺めて憩える施設」「3. ドライブの休憩拠点(駐車場やトイレなど)」「6. 幼児や子供が遊びやすい遊具」の要望が高い

充実してほしい施設(湖南地域)



公園利用の有無にかかわらず要望が高い

公園利用がある方の要望が高い ■ 利用したことがある方 ■ 利用したことがない方

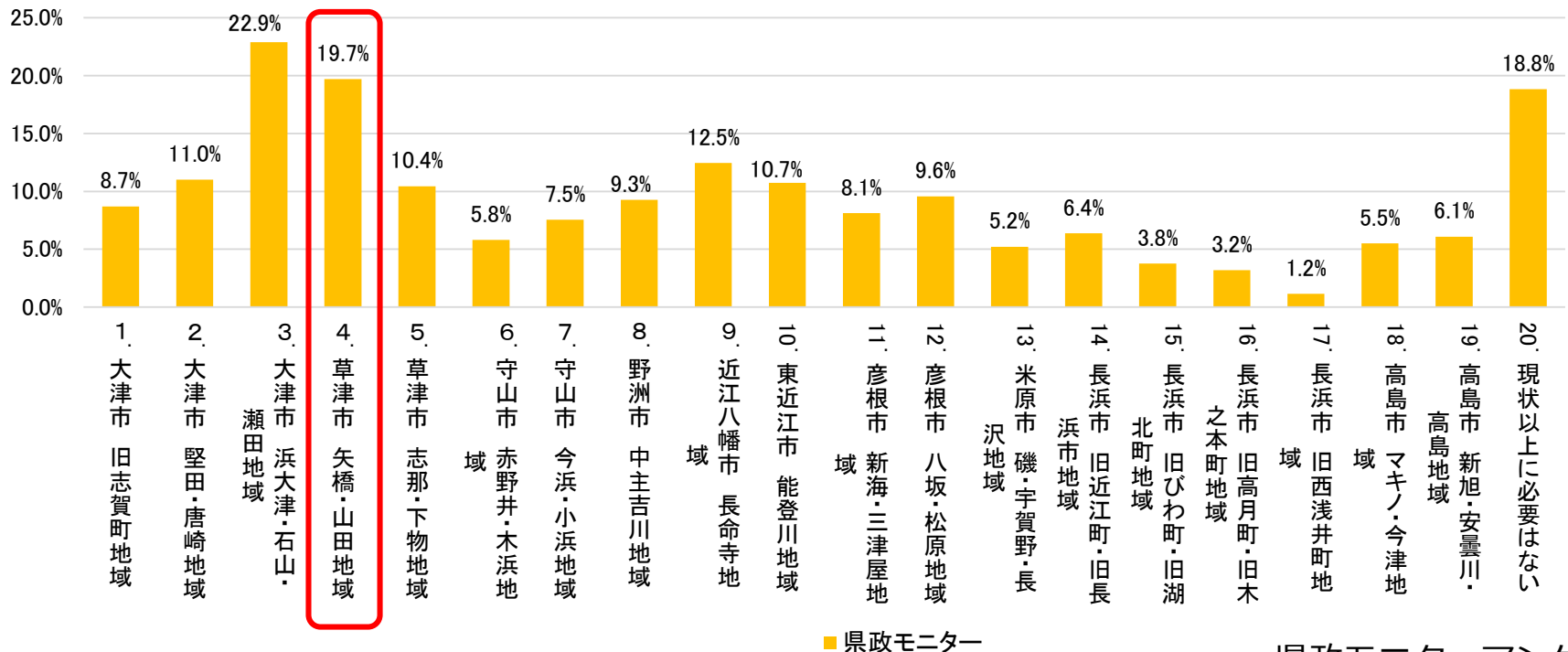
県政モニターアンケート

## 公園の利用状況

### ＜新たな都市公園の設置希望地域＞

- 新たな都市公園の設置希望地域は、3. 大津市 浜大津・石山・瀬田地域、**4. 草津市 矢橋・山田地域で約2割と高い**一方、20. 現状以上に必要はないも約2割と高い

新たな都市公園の設置希望地域



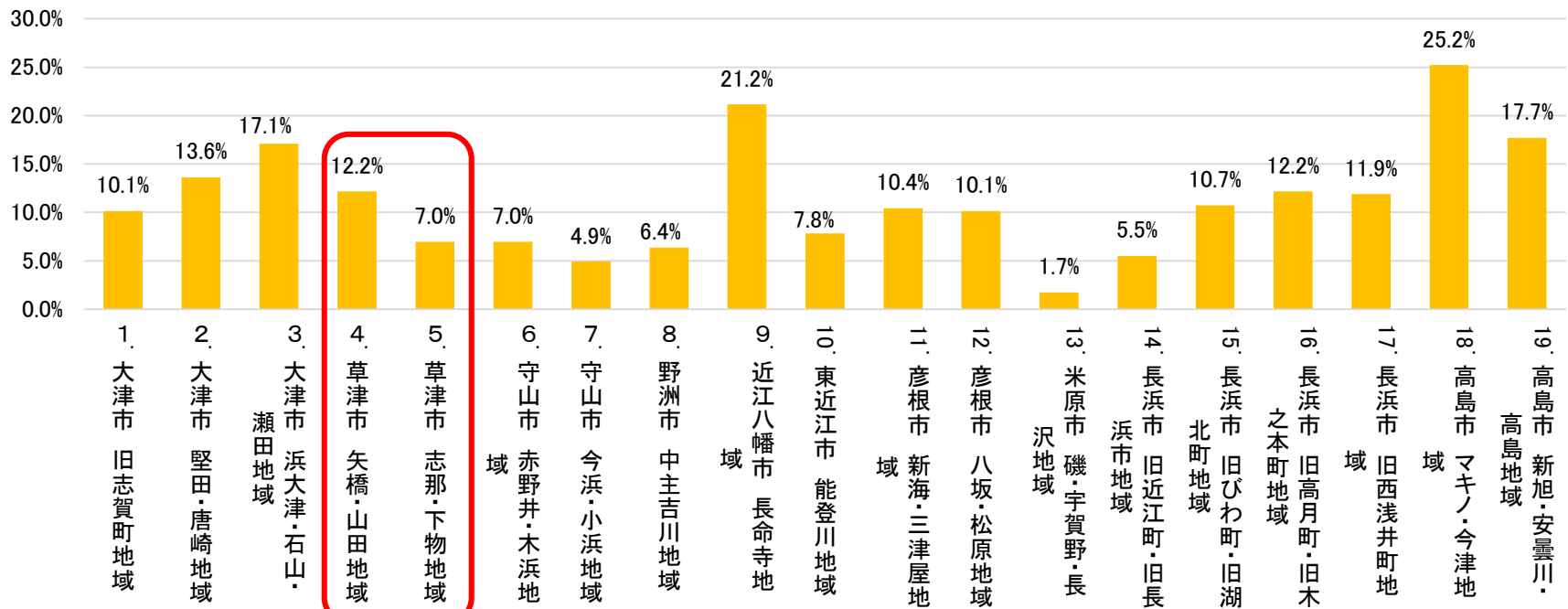
県政モニターアンケート

## 公園の利用状況

### ＜自然環境を保全すべきエリア＞

- 自然環境を保全すべきエリアは、18. 高島市 マキノ・今津地域、9. 近江八幡市 長命寺地域が高い

自然環境を保全すべきエリア

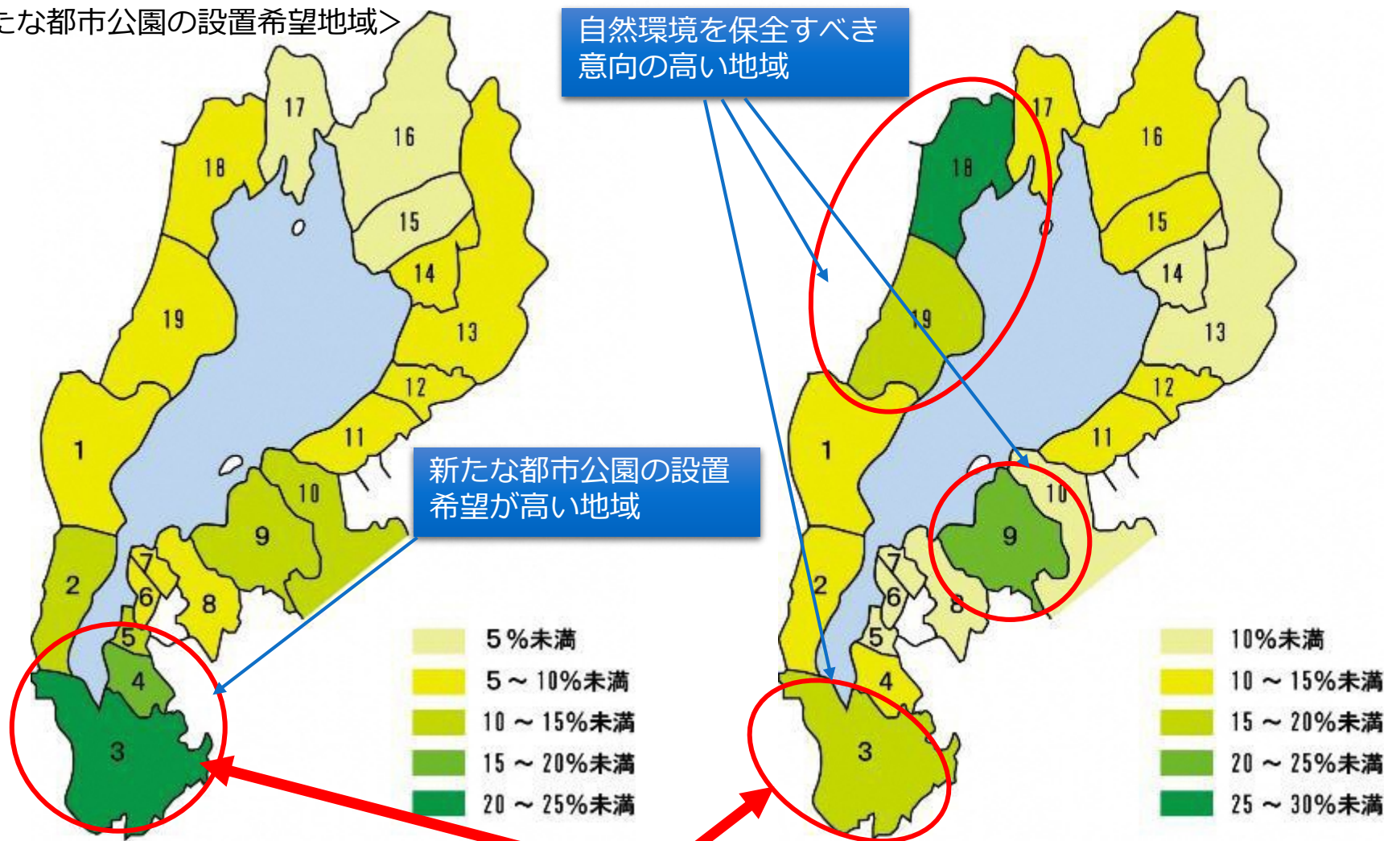


■ 県政モニター

県政モニターアンケート

## 公園の利用状況

<新たな都市公園の設置希望地域>



3. 大津市 浜大津、石山、瀬田地域  
(湖岸や河川沿い、山並みなど様々な地形が存在)

両方が存在

<自然環境を保全すべきエリア>

# 3 湖辺の現況

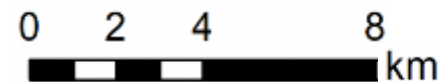
## 湖岸周辺の状況(湖岸から概ね500m)

### 整理の例

### <土地利用状況>

#### 土地利用種別

- 田
- その他の農用地
- 森林
- 荒地
- 建物用地
- 道路
- 鉄道
- その他の用地
- 河川地および湖沼
- 海浜
- ゴルフ場



- 大津市（西岸）、長浜市等にて建物用地が分布
- 琵琶湖岸の大部分は、田、その他農用地が分布

## 湖岸周辺の状況(湖岸から概ね500m)

### 整理の例

### <ヨシ群落保全区域>



○草津市域は、  
ヨシ群落保全地域が点在

### ヨシ群落保全区域 (保全地域)

→良好な状態に向けた保全を行う  
失われた場所は再生を図る



## 平成30年度

- 湖辺の現況把握
  - ・土地利用
  - ・県内市町への意向把握
- 取組事例調査
- 保全・利用・活用エリアの考え方の整理

⇒「保全」「利用」「活用」エリア区分（素案）作成

## 平成31年度

- エリア区分（素案）の精査
- 民間活力導入に向けた意向調査 等

⇒将来ビジョン策定



# ご清聴ありがとうございました

## この後のワークショップでは・・・

- 現在の湖辺域（湖岸緑地など）に対する思い
- 将来の湖辺域（湖岸緑地など）へのあり方・・・ など